

委員会Pick UP

総務常任委員会

総務常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について、主なものを報告します。

議案第3号

白河市個人情報保護条例及び白河市情報公開条例の一部を改正する条例

個人情報保護の保護に関する法律及び行政機関等の保有する個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、個人情報保護の定義、要配慮個人情報の取扱について所要の改正を行うものです。

議案第5号

白河市職員の退職手当支給に関する条例等の一部を改正する条例

国家公務員退職手当法の一部改正に準じ、官民均衡を図るため、特別職及び一般職の退職手当の引き下げを行うなど所要の改正をしようとするものです。

議案第6号

白河市税特別措置条例の一部を改正する条例

「農村地域工業等導入促進法の一部を改正する法律」、「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部を改正する法律」及び「企業立地促進法第20条の地方公共団体を定める省令の一部を改正する省令」の施行に伴い、所要の改正を行うものです。

議案第33号

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

辺地に係る公共的施設の総合整備計画を策定するため、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律の規定により議会の議決を得ようとするものです。

●こんな質問が出ました。

Q 辺地対策事業債や整備計画について

A 辺地対策事業債を使って事業を実施するためには、事前に整備計画を策定し、国に提出しなければなりません。また、本市では旗宿・十日市・赤仁田辺地の3箇所が指定されているが、過去に辺地対策事業債を活用した実績として道路、史跡の園路、光ファイバー、携帯電話の鉄塔などの整備が行われている。

議案第34号

平成30年度白河市一般会計予算

主な事業

▼地域おこし協力隊活用事業

1267万円

都市から本市に住民票を移動し、地域行事やコミュニティ活動の応援などを通じて地域協力活動を行う「地域おこし協力隊」への支援を行うものです。

▼地域公共交通総合連携事業

1317万8千円

平成29年度に策定した「白河市地域公共交通網形成計画」の趣旨に基づき、多様なニーズの対応やまちづくりとの一体化を目的に、公共交通網の見直しを図るため、事業検証・分析を実施するものです。

▼白河市国際交流協会補助金

415万4千円

市民の国際化・国際理解などを推進するものです。

- ① 中学生国際交流事業
- ② コンピューターニュー市民交流
- ③ コンピューターニュー市民訪問団受入事業

▼空き家対策事業

501万1千円

空き家の利活用を図るため、居住するのに必要な改修費等の助成を行い、所有者には、家財道具の処分費用を助成するものです。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

市民産業常任委員会

市民産業常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について、主なものを報告します。

議案第8号

白河市手数料条例の一部を改正する条例

平成27年度から個人番号カードが交付されたことに伴い、住民基本台帳カードの交付が終了しているため、住民基本台帳カード交付に関する規定部分を削除するなど所要の改正を行うものです。

議案第18号

白河市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例

議案第44号

平成30年度白河市地方卸売市場特別会計予算

「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」が改正され、「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律」と法律名等が変わったことに伴い、工場立地法の特例措置に関わる所要の改正を行うものです。

●こんな質問が出ました。

Q 預託保証金の現在額について

A 現在の預託保証金は345万5千円である。

議案第50号

平成29年度白河市一般会計補正予算（第6号）

●こんな質問が出ました。

Q 火薬類使用許可の場所及び手数料について

A 場所は、表郷地域の碎石場などであり、平成29年度の手数料収入は約18万円程度である。



〈碎石場〉

議案第34号

平成30年度白河市一般会計予算

●こんな質問が出ました。

Q 白河産米食味分析事業での検査実績と最高値について

A 平成29年度の検査実績は250件で、最高得点がコシヒカリ85点、天のつば74点、全品種の平均は75点である。



〈食味分析〉

Q マイナンバーカードの交付者数について

A 平成30年2月28日現在で5942人に交付している。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

教育福祉常任委員会

教育福祉常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について、主なものを報告します。

議案第24号

白河市子どものいじめ防止条例

いじめ防止対策推進法の趣旨を踏まえ、本市におけるいじめの防止等に関する基本理念と責務を明らかにし、市民ぐるみでいじめを防止し、児童生徒が安心して学ぶことができる環境を整えることを目的に制定するものです。

●こんな質問が出ました。

Q 今回の条例制定に伴い、市民や関係機関などにどのようなPRを行っているのか

A 条例制定に加え、現在取り組んでいるいじめ関連事業の情報も含め、広報誌などを活用して積極的なPRを行いたい。

議案第25号

白河市奨学金貸与条例の一部を改正する条例

奨学金を利用している奨学生の経済的負担を軽減し、若者の定住を促進するため、奨学金の返還に関する所要の改正をしようとするものです。

●こんな質問が出ました。

Q Uターン就職者などの奨学金の一部返還免除について

A 地元定着促進のため、適正な運用を図りたい。

議案第50号

平成29年度白河市一般会計補正予算(第6号)

●こんな質問が出ました。

Q スポーツ振興基金の状況について

A 昭和57年から運用を開始し、平成28年度末で累計積立金1億3190万2261円、運用額累計が1億747万5176円、差引残高が2442万7085円となっており、主に全国大会出場激励金や地域型スポーツクラ

ブ、スポーツ少年団などに対する助成金として活用している。

Q 放課後児童クラブ運営費の繰越し理由について

A 県の事業内示に時間を要し、事業着手が遅れたものである。

議案第58号

平成29年度白河市介護保険特別会計補正予算(第3号)

●こんな質問が出ました。

Q 居宅介護サービス計画給付費が増額補正となった要因について

A 要介護者が増えたことが要因と思われる。

議案第34号

平成30年度白河市一般会計予算

●こんな質問が出ました。

Q いじめ対策推進委員の構成及びQ-Uテストについて

A 構成員については、児童相談所、医師、保健師、教育事務所、弁護士、警察署、大学教授であること、Q-Uテストについては、内容及び実施状況の答弁があった。

Q 病児保育事業について

A 定住自立圏構想事業の一つであり、病中または回復期の子どもを一時的に預かり、保育するもので、定員は6名、平成31年4月の開設を予定している。

議案第41号

平成30年度白河市民健康保険特別会計予算

●こんな質問が出ました。

Q 受診行動適正化事業について

A 頻回受診や重複投薬をしている被保険者に看護師等が訪問し、指導を行い適正な受診に繋げることを目的としている。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

建設水道常任委員会

建設水道常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について、主なものを報告します。

議案第20号
白河市営住宅条例の一部を改正する条例

公営住宅法の一部改正により、公営住宅入居者である認知症患者等の収入申告義務の緩和を行う規定を追加するものです。また、入居者資格の要件の追加及び結城市営住宅の廃止に伴う所要の改正を行うものです。

●こんな質問が出ました。
Q 結城市営住宅の解体後の土地利用について

A 当市営住宅は、昭和43年、45年に建築したものであり、今回施設の老朽化により解体するが、その後、新たに新築する計画はない。また、土地を借地しているため、更地にした後、土地所有者に返還する。



〈旧脇本陣柳屋旅館〉

議案第23号
白河市旧脇本陣柳屋旅館建造物群条例

市を代表する歴史的風致形成建造物を保存し、市民の歴史及び伝統の理解並びに郷土愛の醸成に寄与するため、旧脇本陣柳屋旅館建造物群の設置に必要な事項を定めるものです。

議案第50号
平成29年度白河市一般会計補正予算(第6号)

●こんな質問が出ました。

Q 歴史民族資料館資料等取得基金積立金の状況と使用用途について

A 平成29年度末には、当基金が219万1416円になる見込みである。また、本市とゆかりのある重要な歴史資料等を円滑かつ効果的に取得するための基金である。

議案第61号
平成29年度白河市個別排水処理事業特別会計補正予算(第3号)

●こんな質問が出ました。

Q 浄化槽整備推進事業の減額理由について

A 当初、浄化槽設置の申請数を56基で見込んでいたが、2月末現在で43件の申請となっており、当初の見込み数よりも申請件数が少なかったために減額するものである。

議案第34号
平成30年度白河市一般会計予算

●こんな質問が出ました。

Q 市営住宅の滞納繰越について

A 滞納者には、段階に応じ、督促・催告文書の通知、電話連絡、個別訪問等により、納付指導を行うなど、家賃の滞納解消に努めている。また、今後においても、入居者間の公平性を確保するため、これまで以上に臨戸訪問等の機会を増やすなど、徴収率の向上につなげていきたい。



付託された議案は、いずれも原案のとおり同意又は可決しました。